

SORA

web magazine 2014.dec. vol.47

Travel

ニタリザメってこんなに美しいんだ！
& マラパスクアの海の素顔

MAP
CLICK!

Phillipines Malapascua

Photo & Text : Yasuaki Kagii

ずっとずっと行ってみたいと思っていたフィリピンのマラパスクア。

ニタリザメで有名になったこの海は、どんな海なんだろう？

ニタリザメだけがすごい？ いやいやそんなことなかったです。

カラフルな海底と多種多様なマクロの生き物。

そして、リゾートも雰囲気抜群で素敵！

レストランの料理も美味しい！

是非、旅の候補にマラパスクアを加えてみて！

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2014
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.



朝、早起きして、 ニタリザメに会いに行く！

マラパスクア Philippines
Malapascua
Travel

朝4時15分に起床。前日にカメラ機材やダイビング器材はしっかりと準備していた。4時半にダイビングセンターに向かい、ナイトロックスなどの確認をして、大きなダイビング専用のバンカーボートに乗り込んで、5時に出発。うっすらと夜が明け始めてくる方角を目指してボートは進む。移動時間は約30分。ポイントに着く頃にはもう夜は明けていて、早朝の明るい陽射しが水面に差し込んでいた。ボートの先からジャイアントストライドでエントリー。アンカーブイに捕まりながら潜降。潮の流れもほとんどなく、水深15mほどの海底に到着。そこから、クリーニングステーションがあるドロップオフ付近まで移動する。ガイドのアルフィーが早くも反応した。彼の指差す方向には、大きなシルエット。ニタリザメだった。コンピューターでダイブタイムを確認した。画面の右上には「6」。エントリーして、たった6分で遭遇してしまった。そしてアルフィーの指示のもと、みんなで再度着底する。目の前に、尾の長い竜のようなニタリザメが泳いでいる。何度も何度もクリーニングステーションを巡回する。静かに待っていると、もう2匹のニタリザメが現れた。合計3匹。アルフィーを見ると、



マスクの中の表情が興奮し、「今日は良い!」と語っていた。その中の1匹がずっと旋回を繰り返しては、正面顔を見せてくれる。尾の長さに反比例して、なんとも可愛い目と口。泳ぐ姿はカッコ良いが、顔はなんともキュートで、そのバランスの悪さが、また私たちのツボにはまっているのかも。約40～50分のランデブーだった。クリーニングステーションはいくつかあり、水深が約20mなので、是非、ナイトロックスでトライしてほしい。3日間のダイビングの予定でやってきたが、最初の1本で、無事ニタリザメにも会え、ほっと一安心。ストレスなしに他のダイビングも楽しむことができる。



tsumi-shima   
ダイバーの夢をつみあげていく旅

ニタリザメに惚れた!

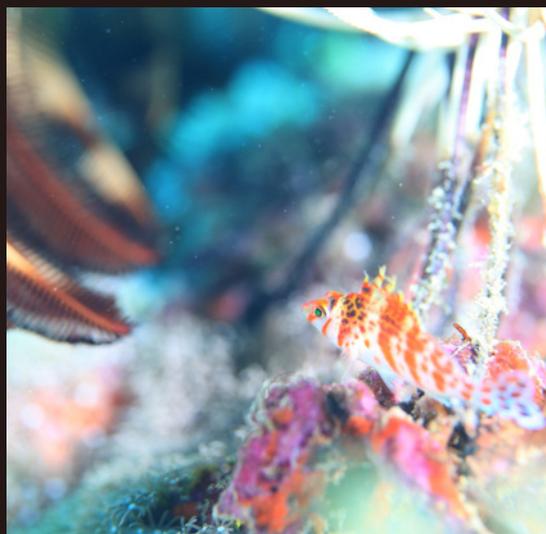
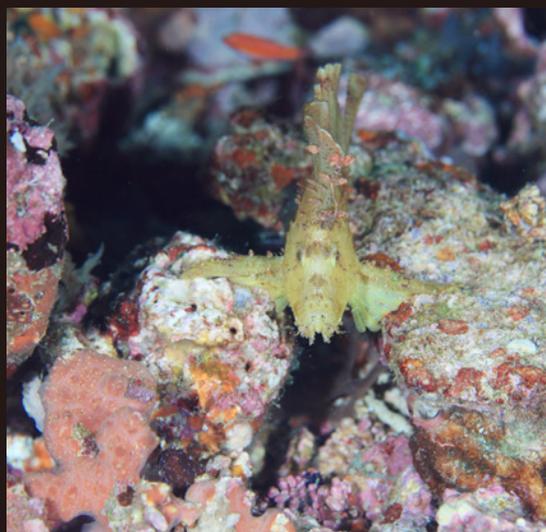


ニタリザメだけじゃない、 マラパスクアの海の素顔をご紹介します！

マラパスクア Philippines
Malapascua
Travel

ノースポイント

リゾートから10分ほどのポイントで、浅い水深の海底に、優しいトーンのソフトコーラルが群棲している。見た目は、それほどカラフルではないが、その種類は豊か。その合間を見ていくと、ウミウシや甲殻類など様々な生き物が見つかる。中層では、まるで何かに追われているようにアジ系の群れが急ぎ足で泳いでいく。ガイドさんの眼力任せで、マクロの生き物を楽しんでいく。そんなポイントかもしれない。



クイラノII

エントリーして、水深20mほどの小さなドロップオフに到着すると、周りの景色とは一変することに気が付く。その背の低い壁沿いには、ピンク色のソフトコーラルが一面に群棲し、とても華やかな印象を得る。そこに黄色のウミウシや大きなイソバナも見つかるので、まるで絵の具をこぼしたかのように美しい。そこにネッタイミノカサゴやヤッコの仲間などが見つかる。どれも色の印象が強いお魚なので、カラフルな海中景観に溶け込んで、これまた絵になる。そのドロップオフ自体は、長いものではないので、じっくりと自然の造形美を楽しむことができる。コブシメやピグミーシーホースも見つかるが、生き物の視点と言うよりは、風景的な視点で潜るのが楽しいかもしれない。私個人としては、また一度、是非潜りたいポイントに仲間入りした。





みんな大好きチョコレートアイランド！

チョコレートアイランド。リゾートから20分ほどボートで移動した小島周辺のポイント。丸く可愛い島の周囲にはいくつかのポイントがあり、ゴロタ、砂地、サンゴと潮当たりの様子によって、海底景観が変化していく。まず最初に潜ったのが、ゴロタのポイント。水深13mあたりの岩には、もう1年も飼われているフリソデエビのペアが2つ。大きさは、ペアを併せると手のひら大で、なかなかの迫力。その後も、ウミウシ各種やブルーリングオクトパス、イッポンテグリ、ゼブラガニ、モンハナシャコなど

など、様々な生き物をガイドさんが見せてくれる。このポイントはマクロが楽しいポイントとすることをガイドさんも知っているので、ガイドさん自身もどンドンテンポ良く、生き物を見せてくれる。途中で、サラサハタの若魚に出会った。岩陰に隠れる餌を探すことに夢中で、どんなに接近しても隙を見せてくれる。ドット模様の可愛い姿なのに、食に貪欲なので、ちょっと驚いてしまう。平均水深も10mほどと浅いのに、アジアの海で、見たいアイドル種がどンドンと現われるのも、とても素敵なポイントだと思う。

マラバスクア Philippines
Malapascua
Travel

ポイントのバラエティも豊富で、 のんびりと楽しめる海



ライトハウス

浅瀬のサンゴ礁のポイントをゆっくり潜っていくポイントで、水深5mに第二次世界大戦で沈んだ日本の沈船がある。もうほとんどの部分を撤去されていて、船底の一部しかないが、まるでクジラの骨のような大きさから、巨大な船だったと想像ができる。サンゴの上を泳いでいくとウミウシやチョウチョウウオなどがたくさん見つかる。ここでひとつ面白いクマノミに出会った。ハナクマノミで頭の白いラインが十字になっている。好奇心旺盛なこのクマノミは、何度も私の前にやって来てくれた。そして、このポイントはサンセット時に、ニシキテグリの放精が見られる。取材時も5時過ぎにエントリーして、サンゴの周りで待っていた。ニシキテグリのオスがグルグルとサンゴの隙間を泳いでいる。時に、他のオスと追いかけてしている。その日はちょうど満月で、メスがなかなか現れずに放精は残念ながら行われなかったが、ガイドさんがしっかりとポイントを確認しているので、是非、見に行きたくて欲しい。他にもオオウミウマや大きなカイカムリなども見られる。

HR

リゾートから一番近いポイントで、ボート移動が3分くらい。エキゾチック・アイランド・ダイブのゲストしか潜れないポイントで、浅瀬に砂地が広がるポイント。海中には様々な人工物があり、そこがお魚たちの漁礁になっている。昨年の台風が来る以前は、ジープなどの車も沈めていたが、今はもう姿はない。それでも残る人工物には、ツバメウオやムレハタタテダイ、ゴンズイなどが群れている。また、リゾートのメンテナンススタッフが作成した6mにもなる大きなニタリザメのモニュメントも鎮座している。また砂地では、ウミウシやウミヘビなどが見られ、少し移動すれば藻場があり、そこでイバラダツなどをガイドさんが教えてくれる。講習でも使用される優しいポイントである。

マラパスクア Philippines
Malapascua
Travel

ウパンバトゥ

水深15mくらいのトップリーフを持つ小さな隠れ根で、この壁にはピンク色のソフトコーラルが群棲し、黄色や緑などの色彩豊かなウミシダが付着している。その鮮やかさは本当に素晴らしく、とても豊かな原始の海を想像させてくれる。そのカラフルなサンゴや腔腸類の間隙には、ネッタイミノカサゴやウミウシなどがいて、フォト派ダイバーにも断然お薦めのポイント。また大きなヤギがある周囲では、ツバメウオやコガネスズメダイの群れていて、より一層賑やかになる。トップリーフも脳サンゴやウミシダのコンビネーションが楽しめる。大きなオオモンカエルアンコウのペアやクマノミなどなどがいるので、最後まで飽きることないダイビングを楽しむことができる。



このポイントを潜って、
マラパスクアの虜になっちゃった!



リゾートは海と同じくらい、 素敵な空間だった

マラパスクア・エキゾチック・アイランド・ダイブ&ビーチリゾート

マラパスクア島でも老舗のダイブリゾート。海岸線に面する美しいリゾートで、中央にレセプション、海から見て正面に右にオープンエアも兼ね備えたサンドカーペットのレストランとビーチフロントルーム棟、左に2階建ての大きなダイビングセンターがある。中央の奥にはリゾート棟がいくつかあり、スーパーデラックス、デラックス、スタンダードルームがある。客室の合計は30部屋。老舗のダイビングセンターだが、リノベーションを終えているので古さはなく、清潔で快適なリゾートライフを楽しむことができる。特にレストランはお料理も美味しく、メニューにはアジアン、ヨーロッパディッシュなど、お肉、シーフードのメニューが驚くほど豊富。ダイビングの後は、このレストランで美味しい料理を楽しみながら、くつろいで欲しい。海が見えるとても素敵な空間だ。ダイビングセンターも併設なので、何かと便利。まさに理想の南国ダイブセンターだ。



マラパスクア Philippines
Malapascua
Travel





毎回のアラカルトの食事がこれまた旨かった！

マラパスクア Philippines
Malapascua
Travel



**日本人スタッフはいないけど、
 フィリピンの現地ガイド陣がしっかり対応してくれる！**

エキゾチック・アイランド・ダイブセンター

スウェーデン人のレベッカさん、ジョアさんが経営するダイビングセンターで、マラパスクアでパイオニア的存在。1998年にコンプレッサー1台で最初のダイビングセンターをスタートして、現在まで人気を誇る。20~30名乗りの大きなダイビング専用パンガーボートを4隻、15名乗りを1隻をメインに使用。シーズンによって、ダイビングガイドの人数は多少変化するが、常勤は8~9名。基本的に1ダイブガイドに4名のグループ。経験本数、ナイトロックスなどによって分ける（ハイシーズンで経験者の多い場合は6名）。ダイビングセンターも近代的で広く、洗い場、干し場など使い勝手が良い。快適にダイビングライフをエンジョイできる。現在、ダイビングが未開のサマルルのキリキタ島にダイビングセンターを建設中。こちらの展開も楽しみ。

